

【磯子区】平成 29 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 29 年 6 月 5 日 午前 10 時 00 分～午前 12 時 00 分
場 所	磯子区総合庁舎 公会堂集会室
出席者	<p>【座 長】 関 勝則 議員</p> <p>【議 員：3 名】 加藤 広人 議員、太田 正孝 議員、山本 尚志 議員</p> <p>【磯子区：35 名】 小林 正幸 区長、井関 敏也 副区長 齋藤 功 福祉保健センター長 岩元 隆道 福祉保健センター担当部長 柳井 和彦 磯子土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>議題 1 平成 29 年度磯子区個性ある区づくり推進費の執行計画等について</p> <p>その他報告事項 1 平成 29 年度磯子区運営方針について</p> <p>その他報告事項 2 横浜市都市計画マスタープラン磯子区プラン 「磯子区まちづくり方針」改定原案（案）について</p>
発言の 要 旨	<p>議題 1 平成 29 年度磯子区個性ある区づくり推進費の執行計画等について</p> <p>【2 商店街にぎわいづくり事業】</p> <p>山本議員：商店街活性化支援事業について、事業内容の聞き取り調査・支援メニューの作成・モデル事業の役割分担、想定されるモデル事業の具体的な内容、事業の次年度の予算規模や区局連携で行う見込みの有無、モデル地区の選定について伺いたい。</p> <p>椎葉地域振興課長：役割分担については、区と商店街とコンサルが一緒になって行っていく。メニューの想定については、魅力のある個店にしていく取り組みや新規顧客を引き入れる取り組みなどをやっていくと思われる。次年度については、まだ決まっていないが、市や県と協調できれば財政的に助かると思っている。モデル地区については、まだ調整中だが、区商連と相談しながら進めていきたい。</p> <p>【全国都市緑化よこはまフェア区局連携事業】</p> <p>山本議員：フェアに対する区長の評価、杉田臨海緑地の来場者数、フェアにおける磯子区のレガシー、杉田臨海緑地等公園・駅前花壇の維持管</p>

理の主体、今後の磯子区の花とまちのまちづくりプランについて伺いたい。

小林区長：先生方のご尽力もあり、杉田臨海緑地を緑化フェアに合わせてタイミング良く整備することができたと自分では評価している。区のレガシーとして、海に接し、かつ山にも囲まれた自然豊かな磯子を将来にわたって残していくことが大変重要であり、杉田臨海緑地もきちんとした形で将来につなげていくことが磯子らしいレガシーを残していくことにつながる。維持管理については、港湾緑地のため港湾局で予算措置を行うが、地元の皆様にもご協力していただきながら行っていきたい。花とまちの将来ビジョンについては、区民の憩いの場となるような市街地における緑・花をまちづくりの一環の中で引き続き整備していきたいと思っている。

瀧澤区政推進課長：杉田臨海緑地の来場者数については把握していない。

【その他 横浜プールセンターの改修】

山本議員：横浜プールセンターについて、通年利用のためのバーベキュー場としての利用の試みが地元の意見もあって中止になったという経緯がある。今後そういったイベントを検討していくのか伺いたい。また今後の改修にあたっては、地元への影響を考慮してほしいが、地域がどのように関わっていくのか。

瀧澤区政推進課長：市民局としては、通年賑わいができるような利用計画を考えているようだが、地域の意見を伺ったうえで検討するよう市民局に働きかけていきたい。改修のスケジュール等については決まっていないので、分かり次第、説明したい。

山本議員：地元への影響を十分に考慮し、慎重に取り組んでほしい。

【9 いそごみんなの食卓設置事業】

山本議員：こども食堂との関係、設置の進捗状況、若者の参加を促す方策、こども食堂の予算額、事業の持続・拡大に向けた財源を確保する方策、運営に法人からの寄付を導入することに対する考えを教えてください。

小林区長：困難を抱える子供たちが地域の人たちとつながる居場所を整備するこども食堂事業の中の一つの場として、みんなの食卓設置事業がある。こども食堂の進捗は、ワークショップの開催などにより人材

の確保については見通しが立ち、食材の提供についても区の様々な団体に働きかけているところであるが、その中で、若者にも参加いただけるよう呼びかけていきたい。こども食堂に関する区の予算はなく、みんなの食卓設置事業の予算は行政サービスコーナー跡地整備費だけである。運営についてはボランティアを中心に行い、区としては区社協と調整しながら支援していく立場のため、予算措置については、今のところ考えていない。法人からの寄付等については、事業継続のためには食材等経費が必要なため、関係団体に働きかけ、様々な形での支援をいただくよう調整していきたい。

山本議員：行政が子供たちに目を向ける事業の一年目として、しっかり進めていただき、次年度以降につなげてほしい。

【15 生活困窮相談支援事業】

山本議員：受入先での勤務の内容、事業を通じて期待される効果、雇用・就労につながるのか、他区での取組、この取組における現状と課題について伺いたい。

小林区長：この事業には、就労意欲・やりがい作りのきっかけとしての効果があると考えている。

関野生活支援課長：雇用ではなく、ボランティアの形で活動していただいている。

高岩東滝頭保育園長：現在、40代の女性のボランティア1名に雑草取りを手伝ってもらっているが、大変丁寧な仕事ぶりである。ボランティア本人からも自信がついたという話をいただいている。

【磯子駅前再編整備に関する検討（区局連携促進事業）】

山本議員：磯子駅前に、にぎわい創出空間をつくることは大変重要である。事業に関する区としての考えと今後のスケジュールについて伺いたい。

小林区長：磯子駅前に変化がない一方、周辺の交通環境は大きく変わっている。高齢者を含めた歩行者の視点でのやさしい駅前広場や多くの後背人口を抱えた駅前のにぎわい創出・滞留空間のあり方について、次年度以降、まちづくりの部門と一緒に検討していきたい。今年度は交通量の分析、来年度以降はにぎわい創出に向けてのまちづくりの検討、というスケジュールで考えている。

【22 地域と一緒につくる安全安心まちづくり事業】

山本議員：避難所運営の模擬経験に対する認識とこの分野への対応策について伺いたい。

小林区長：熊本市に派遣した区職員から、熊本市では地震に対する想定がなされておらず、避難所の運営主体すら決まっていなかったために混乱をきたしていたと聞いている。横浜市では訓練を重ねているが、実際に沿った訓練というのは大変重要であると思っているので、今後、運営委員会の会議等でも委員の皆様の意見をいただきながら、今後の訓練のあり方についても相談していきたい。

【24 交通安全啓発事業】

山本議員：スクールゾーン対策事業について、地域にはスクールゾーンに指定されている道路で危険な場所というのは多くあるので、対策への協力を要望する。

小林区長：子供の安全、通学路の安全というのは大変重要である。地域の声を聞き、警察と調整しながら、できることはきちんと対応していきたい。

【緊急時における迅速、確実な連絡体制の構築事業（区局連携促進事業）】

加藤議員：すでに事業効果の検証等を行っているのか。進捗状況を伺いたい。

井上総務課長：現在、委託契約の準備を進めているところであり、今後、情報提供先となる自治会町内会に登録のための話を伺う予定である。システムの運用は7月中を想定している。

加藤議員：自治会町内会への話はすでにしたのか。

井上総務課長：今月の区の連合町内会で予定している。

【磯子区寄り添い型学習支援事業（区配事業）】

加藤議員：今年から杉田劇場が加わって三か所になったが、特に杉田の進捗状況、人数やボランティアについて伺いたい。

関野生活支援課長：杉田の教室は、5月末現在、中学1年生が5名、2年生が6名、3年生が4名、合計が15名。これに対してボランティアは約20名が来ている。

加藤議員：希望者は全員受け入れていると聞いているが、潜在的な待ちがい

ると残念だ。対象者数の把握や周知にあたって気を付けている点を教えてほしい。

関野生活支援課長：生活保護以外にも生活困窮者自立支援制度の相談に来た方の中学生に声をかけているが、周知については非常にデリケートであり、今後の研究課題であると認識している。また、本当に必要な方に手が届いているのかということについても、まだ十分ではないという認識をもっている。

加藤議員：自分のところに相談に来た方へどのように案内すればよいか困ることがある。

関野生活支援課長：生活支援課の方に案内していただきたい。対象者は貧困になる恐れがある方まで含んでおり、幅広にしてある。こちらに来て相談していただければ、対象となり、受け入れ可能になるので、積極的に案内していただけると大変助かる。

【2 商店街にぎわいづくり事業】

太田議員：南部市場に大規模小売店舗が誘致されることになったが、杉田を中心に磯子の商店街が打撃を受けることを懸念している。市の経済局が中心となってこの誘致を進めているが、経済局は対策どころか調査も行わない。区では商店街振興を行っている一方で、市では商店街潰しにつながるようなことを行っている。商店街にぎわいづくり事業はこの点を考慮しているのか。区として真剣に考えるべきだ。

【10 磯子らくらく買い物支援モデル事業】

太田議員：高齢化が進んだエレベーターがない市営住宅では、買い物に困っている実情がある。この磯子らくらく買い物支援モデル事業ではどういうことをしようとしているのか伺いたい。

【緊急時における迅速、確実な連絡体制の構築事業（区局連携促進事業）】

太田議員：大地震の発災直後は、携帯電話も通じなくなる。電話による連絡体制で成り立つのか。

【2 商店街にぎわいづくり事業】

小林区長：商店街の大規模小売店舗進出に対する防衛策については、大変苦慮している。経営の専門家等の知恵をいただくとともに、市や県が

持っている振興策を分析しながら、少しでも地域の商店街振興に資するような取組にしていきたい。

【10 磯子らくらく買い物支援モデル事業】

瀧澤区政推進課長：本事業の目的は、日頃の買い物に苦勞されている高齢者に体力的な負担を軽減するしくみや外出力向上のための支援であるため、基本的にはご自身でお買い物に行ってください。そのための送迎バスの運行、あるいは移動販売車の導入などが選択肢として考えられる。ご指摘の市営住宅における買い物支援については、地域ケアプラザが検討しているボランティアによる支援と本事業を組み合わせ高年齢者が買い物しやすい環境づくりを整えていければと考えている。

【緊急時における迅速、確実な連絡体制の構築事業（区局連携促進事業）】

井上総務課長：発災時における情報伝達手段として、広報車、eメール等複数用意する中で、今回の電話によるシステムについては、3年間で効果を検証し、その後このシステムをどういう形で運用していくかということを検討させていただきたい。

太田議員：発災時に電話が通じなければ、システムとして意味はない。特に大地震の際に機能するのか伺いたい。

【2 商店街にぎわいづくり事業】

太田議員：今回の大型店の進出は市が加担している。そうであるなら、市として商店街に対して何か手当の方法があるのではないか。

山本議員：中央卸売市場の機能をなくした南部市場の活性化のための手段としては間違っていないと思うが、商店街にとってもプラスになるような方向に持っていけるように、区から経済局に課題等を上げてもらいたい。

小林区長：今回の南部市場の開発の影響は、プラス・マイナスいろいろあると思うが、経済局とよく調整を図り、商店街にとってプラスになる方策を調査の中で検証していきたい。いろいろご助言ありがとうございます。

【緊急時における迅速、確実な連絡体制の構築事業（区局連携促進事業）】

井上総務課長：本事業については、テレビを見ない方々や携帯を使用しない方々等に対して伝達手段を拡大し、町の防災組織等の責任者である自治会町内会長に直接情報をお届けすることを目的としている。大規模な地震の発災時に連絡が取れるのかということは、大きな課題として、総務局にも伝え、連携して検討したい。

太田議員：地方で見かける、スピーカーによって住民に直接情報伝達する方式について、どう考えるか。

小林区長：スピーカーについては、全市的に展開するのは難しいと聞いている。本事業については、大規模地震の発災時に電話回線がつながるのかという問題と、土砂災害警戒情報が出た際に職員による巡回では遅れが生じるという問題に対して電話連絡で迅速に対応できるという効果が考えられるが、システム導入にはご指摘いただいたことをきちんと検証していきたい。

【全国都市緑化よこはまフェア区局連携事業（区配事業）】

関議員：フェアは都市緑化を考えるいい機会になったと思う。磯子区でも多くの方がボランティアで参加されたが、継続して花々、草木などの簡単な手入れを区民参加という形で連携して行っていただきたい。

その他報告事項1 平成29年度磯子区運営方針について

<特になし>

その他報告事項2 横浜市都市計画マスタープラン磯子区プラン 「磯子区まちづくり方針」改定原案（案）について

山本議員：横浜環状鉄道については、検討します、とあるが、検討だけでいいのか。

瀧澤区政推進課長：国の基本方針である東京圏における高速鉄道に関する基本計画等において横浜環状鉄道の新設について位置付けられていることから、プランの中でも位置付けている。実際の手法等もあるので、この段階では検討を進めるとしている。

山本議員：磯子区のみちづくりの方針であるなら、磯子区としての推進への強い意志を示した記述にしてほしい。

	<p>小林区長：プランは区民の皆様にお約束するものであるため、現実的なところで、まずはきちんと検討させていただくということを記載させていただきたい。思いとしては先生方と一緒に、ぜひ進めていきたいと考えている。</p> <p>山本議員：検討する内容を教えてほしい。</p> <p>小林区長：鉄道の場合、検討内容は幅広くあり、ハード面の様々な検討や採算、駅周辺の利便性のための接続など、実現に向けての課題・問題等を含めた幅広い検討を行うことになる。</p> <p>太田議員：行政としては今これ以上言えない。大きな政党が団結して市の方針として整備を進めるよう申し入れるしかない。</p>
<p>備 考</p>	<p><u>その他</u> <特になし></p>